



回 覧

赤川 県単河川緊急整備工事

VOL.4 平成27年3月発行

国道9号橋下部工 第1期 工事現場だより

現場からのお知らせ

工事進捗

- 2月に行った主工事について
- ① ダンプトラック土砂搬出作業
(予定箇所の搬出は全て完了)
 - ② 国道9号(仮設道路)歩道部分
から工事用道路の設置作業
 - ③ 地盤改良作業
 - ④ 跨線橋の基礎杭撤去作業
を行いました。

【2月の進捗】 実施：65%



国道9号 着手前



国道9号 2月末現在



国道9号(跨線橋) 着手前



国道9号(跨線橋) 2月末現在

いま現場では…

・新しい橋の基礎杭を打込むにあたり支障となる跨線橋の基礎杭引抜および取壊し作業を行いました。

1) 跨線橋の基礎杭について

今まで跨線橋を地中で支えていたのは下記のコンクリート製杭(φ300)です。本数は1つの橋台で40本あり、大田市方面の橋台については全ての杭を引抜きました。

余談ですが、この跨線橋は昭和39年に架設(東京オリンピック開催年)されており、コンクリート杭は51年の歳月を経て地上に姿を現した事になります。杭の状態は引抜時の影響でひび割れが確認できましたがそのままの状態を保っています。

また、この杭については国の研究機関である土木研究所(茨木県)からも視察があり、今後数本を持ち帰り研究材料として利用されるそうです。



① コンクリート杭 引抜前



③ コンクリート杭 引抜後



② コンクリート杭 引抜作業



2)コンクリートブロック積、石積、隧道(トンネル)下の基礎杭について

上記全ての構造物下には木杭が打ち込まれていました。※写真参照

長さはL=3.0m~4.0m、末口 30 cm程度で材質は松材と思われます。この木杭については地下水位下にあるため空気と触れる事がないため腐ることなく半世紀の間、当時の状態を保ったままでした。今でも構造物基礎杭として使用されているため理にかなった基礎工法で、まさに「先人の知恵」とはこの事であると実感しました。

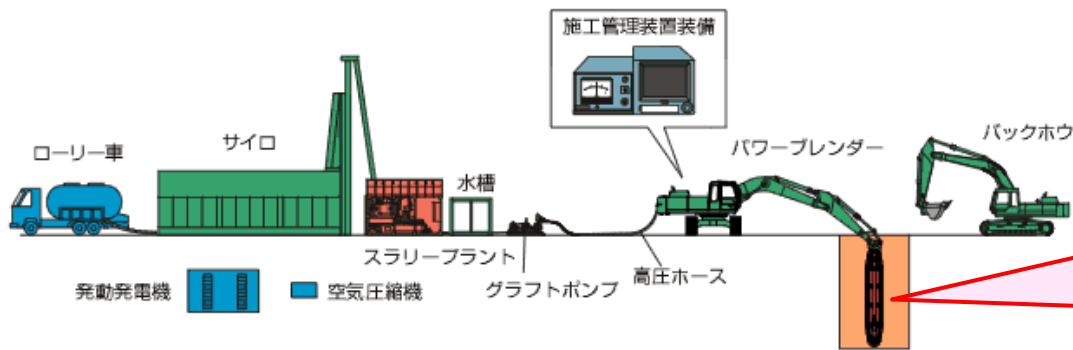
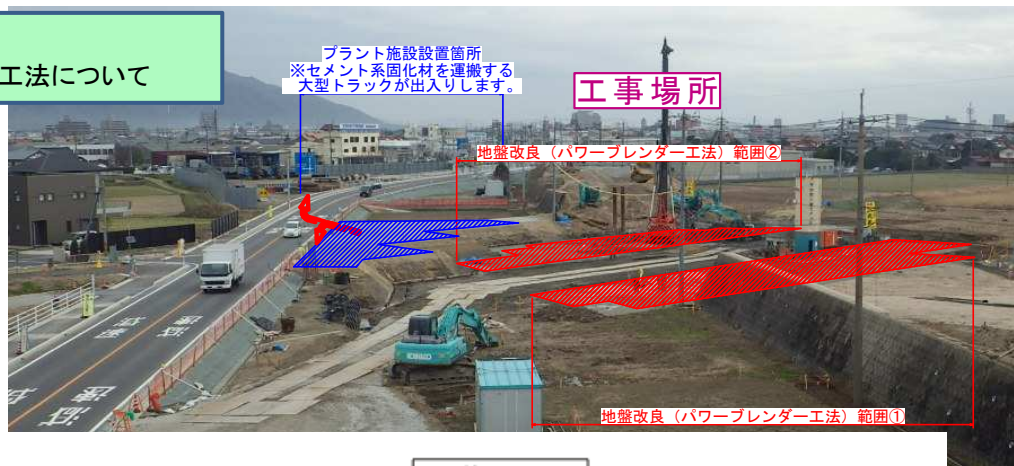


今後の工事予定 (3月)

- ・今後国道9号橋の工事を行うにあたり、大型建設機械の搬入や地下水位より低い位置での橋台設置を行うための止水を目的とした地盤改良(パワーブレンダー工法)工事を行います。

地盤改良工事

パワーブレンダー工法について



地元皆様へのお願い

この工事の工期は当初3月20日までと皆様にご案内しておりました。しかし、掘削した土の搬出に予定以上の期間を要した事などから全体的に工程がずれ込んでおります。

つきましては、発注者の島根県と工期の延期について調整を行っていますが、概ね1ヶ月程度工期が延期となる見込みです。

今後、島根県から工期の延期について皆様へお知らせがある予定です。何とぞご理解とご協力をお願い致します。

国道9号橋下部工 第1期 工事現場だよりへのご意見・ご質問等



もうしばらくの間ご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

- ◆【作業所】赤川 県単河川緊急整備工事 国道9号橋下部工 第1期作業所
〒693-0006 出雲市白枝町 262 (オリーブハウス 2F)
電話：0853-28-3015 (ファックス兼用)
E-mail: k-eiji@kamuken.co.jp 担当：嘉村・鎌田
- ◆【本社】有限会社 嘉村建設 〒693-0105 出雲市宇那手町 355
URL: <http://www.kamuken.co.jp>